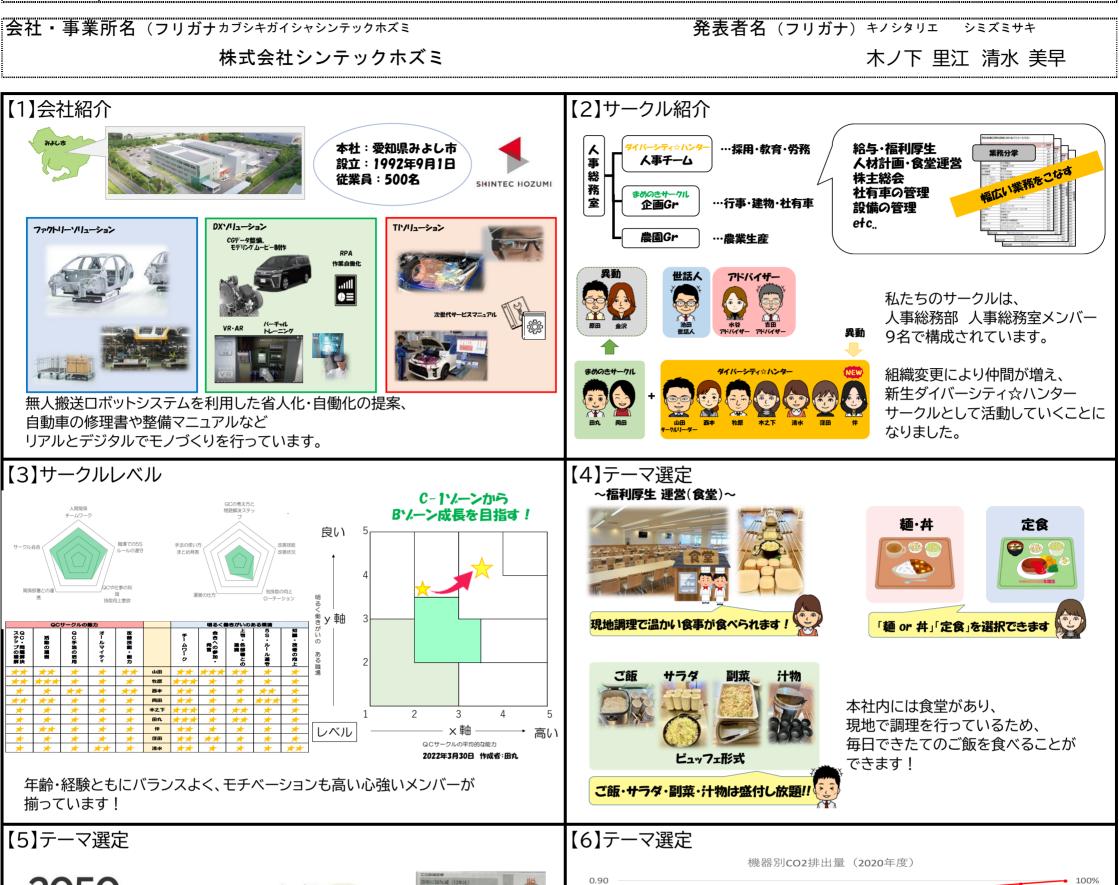
No. テーマ

303

食堂存続の危機!?





2021年6月 全社でCO2排出量の削減に向けて取り組みが加速!

私たちも目標達成に向けて、 食堂のガス機器使用時に排出されるCO2の低減に取り組むことにしました!





60%

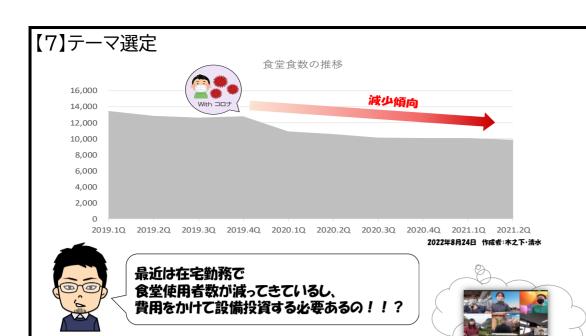
40%

2022年5月11日 作成者:木之下·清水

2025年を目途に予算申請して 機器の更新を進めていきます

機器の更新によりCO2排出量の削減を達成すべく、 電気厨房機器への切替を推進!

発表 形式 サークル名 (フリガナ) QCサークル紹介 ダイバーシティ☆ハンターサークル (ダイバーシティハンターサークル) プロジェクタ 1124-35 サークル結成年月 |本 部 登 録 番 号 4 月 ンバー構 9 名 会合は就業時間 (内) 成 外 • 両方 31.8歳(最高 39歳、最低 26歳) |月あたりの会合回数 年 均 回 マ 本テーマで 1件目 社外発表 1回あたりの会合時間 1 時間 0件目 |本 テ 一 マ の 活 動 期 間 本テーマの会合回数 2021年 8月 ~ 2021年 12月 20 回 発表者の所属 株式会社シンテックホズミ 人事総務部 人事総務室 勤続 8 年



メンバーの1人から<u>厨房廃止の声が上がりました・・・</u>

【8】テーマ選定







食堂以外の方法でも色々ありどう!!

従業員の憩いの場である食堂を そんな簡単になくしていいのかな?



もう一度話し合おう!!

一度は食増廃止の方向で 検討を進めましたが、



メンバーから食堂継続の声もあがり、 再度話し合いを行うことに・・・

【9】テーマ選定

食堂廃止 食堂继续 みんなの意見がまとまらない。。。

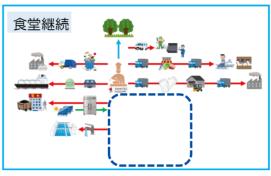


社内だけでなく、もっと広い視野でSDGsを考えてみよう

意見がまとまらず困り果てていたところ、 世話人のアドバイスから、<u>社会全体で見たCO2の流れ</u>を調べてみることに!

【10】テーマ選定

在宅勤務率 25%







食堂が無くなっても、他でC02が出ているよね! 食堂を無くすことで本当にSDGsになるのかな??

CO2の流れだけで見ると、食堂を運営することは、 かえってSDGsに貢献していることが判明! 食堂を継続する方向で考えがまとまりました。



2022年8月30日 作成者:山田·牧原·田

【11】テーマ選定

水を減らす 消耗品をバイオマス製品に

地元の食材を使用する

					0	\triangle	×
項目	人	モノ	効果	コスト	実現性	即効性	合計
厨房機器の更新	0	×	0	×	×	×	14
食堂から出るゴミを 減らす	0	0	0	0	0	0	30
食堂運営中に使用する	0	Δ	Δ	Δ	0	0	24

X

Δ

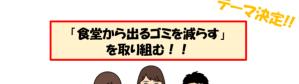
 \triangle

0 0 2022年8月30日 作成者:田丸

0

5点 3点

0



0

X

×



食堂を継続しながら CO2を削減するには どうすればよいのか、 メンバー全員でアイデアを 出し合いました!

20

20

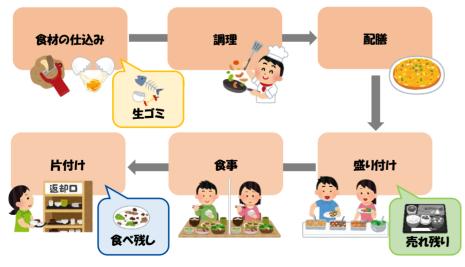
【12】活動計画

STEP 項目	酒日	担当者	上段:予定 下段:実績						
	担当有	8月	9月	10月	11月	12月			
1	テーマ選定	Ш⊞							
2	活動計画	木之下					***************************************		
3	現状の把握	木之下•伴 清水	***************************************		***************************************	***************************************	***************************************		
4	目標設定	山田・木之下・田丸 牧原・窪田・岡田		1	-				
5	要因の追求	西本・木之下・清水	•						
6	対策の検討	山田・牧原・田丸	***************************************	***************************************			***************************************		
7	対策の実施	木之下・田丸・窪田 清水・伴	***************************************		***************************************		***************************************		
8	効果の確認	山田・牧原・岡田							
9	標準化と管理の定着	山田・木之下					*		
10	反省と今後の課題	全員							

2022年8月30日 作成者:山田·木之下

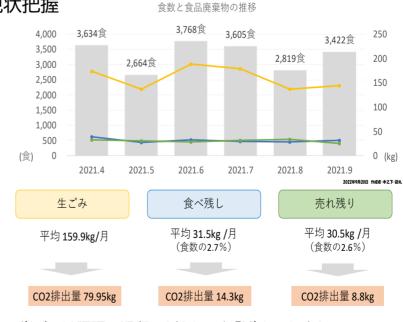
【13】現状把握

食堂の1日の流れ

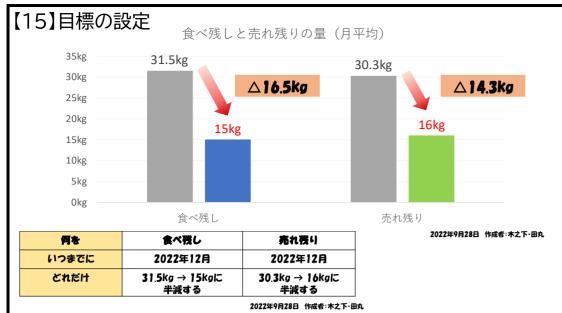


ごみが発生する過程を調べたところ、 「生ごみ」「売れ残り」「食べ残し」の3種類に分けられることが判明!

【14】現状把握



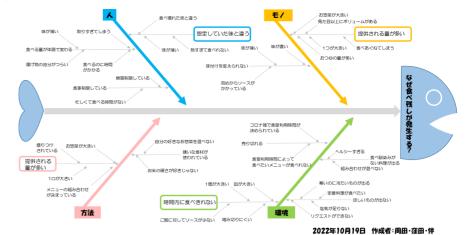
生ごみは調理の過程でどうしても発生してしまう・・・ 食べ残しと売れ残りを削減することで生ごみも減らそう!



全社目標に合わせて、

食べ残し、売れ残りともに半減することを目標に設定!

【16】要因の追求①



「食べ残し」「売れ残り」それぞれ分けて特性要因図を作成食べ残しの主要因は・・・

- ・提供される料理の量が多い
- ・想像した味と違った

【17】要因の検証①

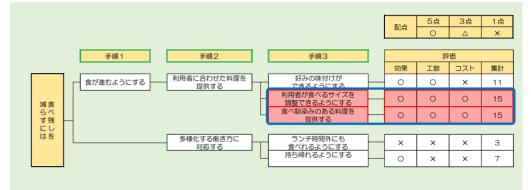
提供される量が多い



メイン料理は既に盛り付けがされており、 利用者自身で調整することができない…

- ご飯・汁物・サラダ・副菜はセルフで盛付

【18】対策案の検討①



2022年10月20日 作成者: 岡田·窪田·伴

想像した味と違う





健康意識づくりの一環のヘルシーメニュー、 マンネリ化防止のオリジナルメニューが登場

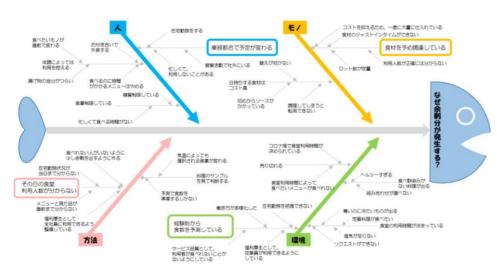
利用者が食べる量を調整できないこと、 見慣れないメニューが登場することが判明!

2つの対策で改善します!

- 1)利用者が食べるサイズを調整できるようにする
- ②食べ馴染みのある料理を提供する

系統マトリックス図で検討し、2つの対策案を実施することにしました。

【19】要因の追求②



2022年10月24日 作成者:清水·山田·牧原

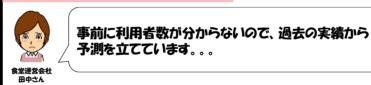
売れ残りの主要因は・・・

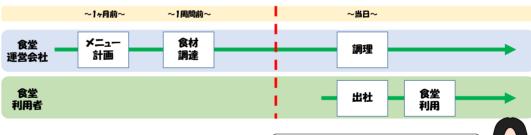
・その日の食堂利用人数が分からない

【20】要因の検証②

~食堂を利用するまで~

その日の食堂利用人数が分からない

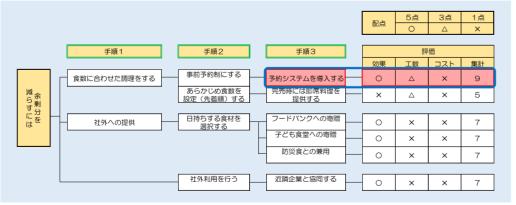






食堂の利用は事前予約制ではなく、食堂運営会社の田中さんに過去の実績をもとに食数を予測して準備いただいています。

【21】対策案の検討②



2022年10月19日 作成者:木之下·田丸

1つの対策で改善します!

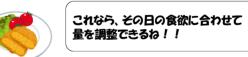
予約システムを導入する

系統マトリックス図で検討し、対策案を実施することにしました。

【22】対策の実施①-1

利用者が食べるサイズを調整できるようにする





サイズが大きい惣菜は予めハーフサイズにカットして提供

食べ馴染みのある料理を提供する

各部から幅広くメンバーを集めた「食堂プロジェクト」を発足!

食堂利用者にメニューについてアンケートを実施

→利用者の声を反映したメニュー案を作成



【23】対策の実施①-2

選択肢を広げる



うどんorそば、温or冷など、 みなさんの希望のメニューを選択できるようにしましょう!





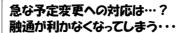
選べるって嬉しいよね! 食堂の食事がきすきす充実♪



食王運営会社の田中さんの提案により、 麺類の種類や温・冷を利用者が自由に選択できるようになりました!

【24】対策の実施②

昼食予約システムの導入











在館人数の連絡

おおよその食数を推測できる!



検討事項が多く、 すぐに導入することは難しい・・・

> 本社の在館人数を毎日食堂運営会社さんへお伝えし、 食数の参考として活用いただくことに!

【25】効果の確認

食べ残しと売れ残りの量(月平均)



CO2排出量 8.8kg

CO2排出量 3.75kg

△5.05kg

食べ残しは目標にあと一歩届かず・・・ 売れ残りは大幅に削減できたため、 全体量は目標達成!!







【26】効果の確認



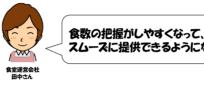


食べる量の調整がしやすくなって助かってるよ!









スムーズに提供できるようになりました!

みなさんといっしょに食堂プロジェクトを

進めることができてよかった!!





食堂利用者や食堂運営会社の田中さんからも 好評の声をいただくことができました!

【27】さらなる改善に向けて

CO2排出量 14.3kg

△5.95kg

CO2排出量 8.35kg

仕込みの過程で発生した野菜くずの堆肥化を実施





CO2排出量 17.45kg

本社値基地内の農園にて野菜くずから堆肥をつくり、 野菜作りに活用、

収穫した野菜は食堂で提供いただき、 社内で循環する仕組みができました!



【28】標準化と管理の定着

5W1Hで担当を決めて実施

なにを	110	誰が	とこで	どうする	
ゴミの量	毎月1日	清水	部内会議で	排出量を報告する	
食数予測データ	毎月末日	木之下	部内で	集計・分析を行う	
食堂ミーティング	2か月ごと	西本·木之下·清水 岡田·窪田·伴 食堂委託会社 様	inspi÷caf é	食堂運営一緒に企画	











2022年12月20日 作成者:山田·牧原·田丸





5W1Hで担当者を決め管理していきます!

【29】反省と今後の課題



改善を通じて、Bゾーンにレベルアップ! また、SDGsの知識を深め、意識を高めることが できました!

Bゾーンにレベルアップ! 良い ∰ヶ軸 4 レベル ×軸-



【30】その後・・・・



COZ低減を運営会社と 一緒に継続



高効率な機器へ更新予定



QCサークル活動を終えた後もSDGsの取り組みを継続しています!